

私たちの道

MCWAYを感じる

会計 × コンサルティング / コンソーシアムの設立へ

1. 「経営支援プラットフォーム」「外部パートナー」との連携

- ・ 目的は、「エリア」「地域」における中小企業の課題解決、成長支援であり、MCが支援できるお客さまの「数の限界」を突破し地域をヨクスル
- ・ 地域における会計事務所、税理士事務所の立ち位置。
申告などを通じて、経営者の個人的なことを知っている。社長が困ったときに最初に相談する先、中小企業経営者との接着剤としての存在
- ・ 一方で、全国的に税理士事務所の大型化が進むなかで、その多くは「資産税・相続」に特化したもの。それだけでは中小企業はヨクナラナイ
- ・ 「共感型の業務提携」→地域の中小企業を本気でよくしていきたいという想いを共有するパートナーと、エリア・地域での「会計・税理士事務所×コンサルティング」
 - 税理士法人エンカレッジ(北海道)、税理士法人三部会計(福島)、Pision合同会計事務所(東京)、
税理士法人横浜総合事務所(神奈川)、ひょうご税理士法人(兵庫)
- ・ この共感型の業務提携契約を全国でつなぐ、「会計事務所×コンサルティング」を中心に「会計コンソーシアム」としてブランドを統一、「サービス・ノウハウの相互補完」「AI」「採用活動・定着」などの共創

2. 今後の取り組み

- ・ 全国1500の会計事務所向け情報誌やセミナーなどを展開する経営支援会社からの支援・連携、コンソーシアムの認知の拡大、共感型業務提携の関係会計・税理士事務所を全国に増やす
- ・ MCでの推進とともに、日本金融人材育成協会の「企業経営アドバイザー」の資格取得、「経営デザインシート」の活用を進める
- ・ 採用活動・定着に向けては、「ココロの共有」「MBL」の導入も勧める
- ・ コンソーシアムの関係者4,000名を目指し、地域インパクトを創出する